

さわべス2018

書籍編

SAWAYA BEST

(17年12月7日さわや書店スタッフ選考)

順位	書名・著者・出版社	コメント
1位	盤上の向日葵 柚月裕子/中央公論新社	皆が「お天道さん」に向かって咲くなかにあつて、ひとり地べたに向かって咲くような、そんな生き様に泣け！ (フェザン店・松本)
2位	火定 澤田瞳子/PHP研究所	歴史の教科書にほんの一行だけ記された奈良時代の天然痘の大流行が、人間の業の深さを余すことなく伝えた物語へと昇華させた著者の筆力に平伏。(フェザン店・田口)
3位	ヒストリア 池上永一/KADOKAWA	勧められなければ読んではいなかった。あらすじだけでは絶対に分からない。慟哭と感情の昂りを味わって欲しい。 (ORIORI・佐々木)
4位	奇跡の歌 戦争と望郷とペギー葉山 門田隆将/小学館	ペギー葉山さんの「南国土佐を後にして」は戦争中に兵隊たちに歌われた望郷の歌だった。ジャズ出身のペギーさんが歌うことになった経緯を解き明かします。(本店・大池)
5位	声をかける 高石宏輔/晶文社	森山直太朗は歌う「生きてることが辛いならいっそ小さく死ねばいい」と。誰だって、寂しさ抱えて生きてんだ！ (フェザン店・松本)
6位	消えない月 畑野智美/新潮社	宮本浩次は歌う「俺もまた輝くだろう 今宵の月のように」と。いや……むしろ輝くな。(フェザン店・松本)
7位	クロカネの道 鉄道の父・井上勝 江上剛/PHP研究所	明治時代、全国に鉄道網を完成させた男の生涯。生き詰った現代だからこそ、この信念に学べ！ (外商部・栗澤)
8位	天上の葦上・下 太田愛/KADOKAWA	相棒ファン必読！上下巻でガラッと変わるストーリー展開をお楽しみください。忘れてはいけない事実があります。(ORIORI・佐々木)
9位	Ank : a mirroring ape 佐藤究/講談社	僕たちが言葉を操る種族であり続ける以上、この物語は“未来”なのだ確信している。 (フェザン店・長江)
10位	点と魂と 小山実稚恵・梶山寿子/KADOKAWA	盛岡育ちのピアニスト小山実稚恵さん。ぜひこの本を読んでからコンサートに行ってください。ピアノの聴き方が変わります。(本店・大池)
【郷土賞】	東北おんば訃石川啄木のうた 新井高子/未来社	声に出して読んで楽しみ、聴いてほっこりして味わう。郷土の訃りを懐かしんで読んでください。(フェザン店・田口)
【新書賞】	減塩新書 いわて健民	書店で醤油？という不思議さに加え、書籍の背表紙をモチーフにしたデザインが人気に。今年的话题性No. 1！(外商部・栗澤)
【新書賞】	バッタを倒しにアフリカへ 前野ウルド浩太郎/光文社	バックアレギーにもめげずアフリカで悪いバッタをバックバッタと倒すバッタ博士にいつの日かノーベル賞かイグノーベル賞を！(ORIORI・竹内)